



川井クリニックニュース

平成 19 年度第 3 号

平成 19 年 7 月 9 日

仙台において日本糖尿病学会年次学術集会が開催されました。当院からは看護師の岩永が『長期血糖コントロール不良患者と良好患者の比較 第 1 報 臨床像と教育内容より』、管理栄養士の臼井が『長期血糖コントロール不良患者と良好患者の比較 第 2 報 食習慣より』、及び私が『糖尿病専門医療施設における未治療初診 2 型糖尿病患者への治療内容とその成果; CoDiC を利用した多施設共同研究』という演題で発表しました。井川医師は 3 日間とも学会場で最近の情報に接したので、以下にその要点と感想を記して貰いました。

(川井 紘一)

第 50 回日本糖尿病学会年次学術集会に参加して

5 月 24 日(木)、25 日(金)、26 日(土)の 3 日間、「糖尿病とたたかう人類の叡智と選択」をメインテーマに仙台で開催された、第 50 回日本糖尿病学会年次学術集会に参加しました。といっても会場はどこも混雑していた上に数箇所に分かれており、1 日に 1 つでも希望のものを聴ければ上等で、今回もまた地方都市で大規模集会を開くことは難しいと感じました。来年は幸い東京です。以下に見聞と配布物などから拾った話題のいくつかをお示します。

日本では腎不全から透析になる第一の原因が糖尿病であり、「慢性腎臓病の概念と糖尿病」が日本腎臓学会との合同で討議されました。医学界は閉鎖的で「学術集会の場で他学会と連携する」のは本邦初の試みでした。2 型糖尿病に関しては、臨床治験中の新薬、動脈硬化の予防などの話題がありました。かつて私は遺伝子など最先端の研究者に時代遅れといわれながら生理学の実験をやっていましたが、最先端の手法だけでは行き詰ることが認識されたようです。厚生労働省のすすめる「わが国の糖尿病対策 DOIT1-3」(この研究には営利目的で一般企業が医療分野へ介入することを危惧する向きもあります。その直後にコムスンの問題が報道されましたが)や、環境要因の関わりを示唆する集団移民のデータ「日系米人研究総括」もありました。1 型糖尿病に関しては、残念ながら今回も特筆すべきものはありませんでした。

糖尿病学会でも昨年「ディベートセッション(公開討論)」が行なわれるようになりました。今回は①糖尿病性腎症に対する蛋白摂取制限は、0.8g/kg 体重か 1.2g/kg 体重か、②健常者の空腹時血糖上限値は 110mg/dL か 100mg/dL か、の 2 つがありました。①では現在は腎不全直前になってからすすめられる 0.8g/kg 体重を、もっと早くから行なうことによる成果は数年前から認められています。とはいえ日本で使われている食品交換表に基づく 1.2g/kg 体重程度でも遵守できない人が少なくないのが現実です。②では健常者の空腹時血糖上限値だけでなく、食後血糖上限値も突然 140mg/dL から 126mg/dL に 10% 下げられた経緯もあり、それによって「予備軍」「患者」数が変わり結局国民全員の費用負担が増えるので、国際的にも意見が分かれています。今回の討論だけでは結論は出ませんが、科学的かつ実効性のある治療方針を定める必要があります。

聞いて面白かったのは元九州大学教授・笹月健彦先生の「免疫遺伝学からのメッセージ」でした。物事には「必然と偶然」があり人類の存在は偶然の賜物そして病気や死は必然である、免疫の仕組みから脳の働きを考える、などのお話でした。先頃「はしか」で大騒ぎしていましたが、ウイルスに比べて人間の DNA 量ははるかに多いので、知恵を使った手段を講じなくてもウイルスによって人類が絶滅することはないそうです。DNA 量は哺乳類と両生類(カエルなど)とで大差がないけれど、脳の働きは人間の独壇場で他の哺乳類と比べても 100 倍以上違うため、人は知恵によって猛獣に負けずに生きられるということでした。生き物初の飽食と運動不足、高齢化を経験中の日本人は、まさに叡智を試されていると思いました。

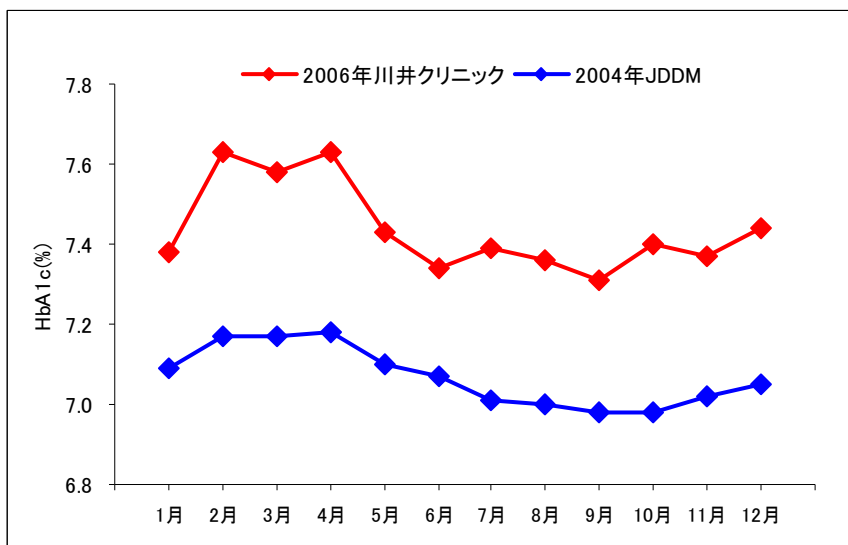
以上まだ糖尿病その他の病気や老化現象、そして死から開放される日は来ないけれど、健康な生活を心がけることが自分たちのためになる、との月並みな感想に終わりました。

(井川 茅野)

年間 HbA1c の推移

川井クリニックでは月毎来院患者さんの HbA1c の分布をグラフ化し、採血室前に提示しています。皆さんの HbA1c はいくつでしょうか。そして、一年間で一番低いのは何月ですか?そこで、今回は 2006 年川井クリニックにおける HbA1c 平均値を推移グラフで表してみました。2~4 月が一番高く、9 月に一番低い値を示しています。冬の間は体を動かさず、こたつに入って、間食だけは止められない人がいるからようです。この結果は青線で示した全国の糖尿病専門医(61 施設)

の集計結果(2004 年糖尿病データマネジメント研究会調べ)と同じ傾向にありました。しかし、残念ながら当院の結果は全国データと比較すると高い傾向を示したのも事実です。これからの季節は例年の結果から一番皆さんの血糖コントロールが良い時期となります。川井クリニックではこの夏、HbA1c 平均値 7.0%を目標に、職員一丸となって皆さんのサポートに当たりたいと思います。全員が例年より 0.3%低い結果となれば目標は達成されます。目指せ全国 No1!!



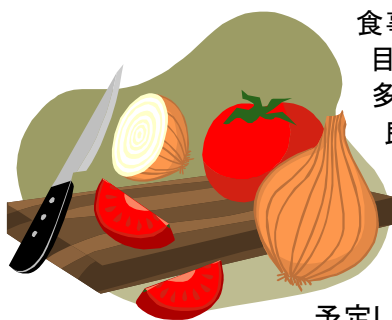
桐の木会報告

7月4日(水)、「桐の木」会調理実習を行いました。今回のテーマは「**薬膳料理**」。この日は残念ながら雨でしたが暑い夏に向けて、身体を冷やす料理を作りました。メニューはゴーヤとピーマンの肉詰め焼き、湯葉の酢の物、トマトの冷たいお浸し、オクラのすり流し汁、クコのミルクゼリーとご飯でした(ご飯 150g として 536kcal)。

トマトは赤・黄の二色を使い、ミルクゼリーにはパルスィートで甘みをつける等、見た目にもお腹にも満足できる料理が出来ました。今回は男性が半数を占め、初めて参加の方もいらっしゃいましたが皆さんで協力し合い、楽しく調理出来たようでした。

食事の後は体験談や今後の目標を話す等、療養について多くの意見交換が行われ、良い交流の場となり、和やかな雰囲気の中終了しました。

次回の桐の木会は 10月3日(水)に運動の会を予定しています。



夏季臨時休診のお知らせ

大変勝手ではございますが、**8月12日(日)~8月16日(木)**は夏休みとさせていただきます。前後の診療は混み合いますので、ご予約の上、御来院下さいます様ご協力をお願い致します。尚、お薬が切れない様、前後の調整よろしくお願い致します。

■: 休診日 ■: PM院長不在

日	月	火	水	木	金	土
7/29	30	31	8/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	9/1

院長不在のお知らせ

7月14日(土)の午後、7月21日(土)の午後、8月3日(金)の午後は研究会出席のため院長不在となります。医師 1 名での診療となり、混雑が予想されますので、お電話でご予約後、御来院いただけますようお願い致します